

平成三十年度 高校推薦入試 作文問題

次の文章は「女の子リーダーになろう」『自制する日本』10代が変える」というタイトルの新聞記事です。これを読んで後の問いに答えなさい。

日本の女の子たちへ。女として生きていくのって、しんどいこともあるよね。「女性活躍」って言うけど、壁がいろいろあるらしい。でも「女の子だから」って言動や夢を制限するのはもったいない。固定観念を捨ててリーダーになろう。そんな女の子たちの話。

■育成組織を運営

「女性は法曹界に向いていない」。慶応大2年の山中実結(みゆ)さん(19)は昨年、男性教授がこう話すのを聞いてショックだった。3歳から9年間、米国で過ごした。当時の夢は大統領になること。「実力があればルールは変わる」と信じていた。だが日本に帰国後、「実力があってもどうにもならない現実を見た」。在籍する法学部でも、学生の約半数が女性なのに女性教授は極端に少ない。女性の多くは、挑戦の前から道を断たれているのではないか。そう感じ、日米の女子学生らが昨年始めた日本の女子高校生向けのリーダー育成プログラム「LADY」の運営に携わる。多様な女性の生き方を紹介し、だれもがリーダーになれることを知ってもらおう。『「あなたはできる」というメッセージを、日本のすべての女子に伝えたい」

上場企業の役員に占める女性比率3・4%、女性の都道府県知事は6・4%……。日本社会には女性のリーダーをめぐる厳しい数字がある。

こうした現実には、若い世代の意識に影を落とす。ガールスカウト日本連盟が2014年、高校生の男女約400人に調査したところ、「リーダーシップをとりたい」男子は62・2%いたのに対し、女子は44・1%だった。

危機感を抱いた全国の女子高校生約20人が8月、千葉県であったLADYの合宿に参加した。東京都内に住む高3の貫名優貴子さん(18)は『「私』である前に『女子』であるというプレッシャーを感じる』。将来、仕事を続けながら結婚、出産もしたいが、女としての気配りも求められている気がして不安だった。

「99%の不安は杞憂(きゆう)に終わる。チャンスがあったらやってみて」。外資系金融会社の女性管理職の言葉で心が軽くなったという。

■FMで思い発信

現状を変えようと、行動を起こした高校生もいる。

「自分たちで課題解決する気概を持ち続けたい」。8月末、埼玉県鴻巣市のコミュニティFMで4人の女子高校生たちが思いを語った。都内の私立高3年の大山友理さん(17)が今春、革新を生み出そうと立ち上げた団体「Women's innovation」のメンバーだ。中3の時、父親が病気で倒れ、母親が就職先を探したが、見つからなかった。ちょうど政府が「すべての女性が輝く政策パッケージ」をとりまとめたところ。『輝く』『活躍』といわれても、家庭の事情がある女性が満足に働ける状況にないと実感した』という。

4人はまず、女性の経営者や政治家らを訪ねてインタビュー。7月には「未来で働く女性のために今私たちが出来るコト」と題したイベントを開いた。今後は政策提言などをしていきたい、と意気込む。

名古屋大教育学部付属高1年の大友志穂さん(15)は7月、名古屋大であった米国発のイベント「TEDx(テデックス)NagoyaU」に登壇した。

国連の親善大使で俳優のエマ・ワトソンさんが3年前に国連本部で「ジェンダーの平等」についてスピーチしたのをネットで見つけたのがきっかけだ。「同世代に自分のことと考えてもらえるよう、発信し続けたい」という。

■大使館や企業も

企業や大使館、NGOなども、女子中高生向けプログラムに力を入れる。

米国大使館は昨年、女の子たちが目標を見つけ、行動を起こすことを応援するプログラムを始めた。今年は「女の子の可能性は無限大」との思いを込め、全6回で開催。初回の9月6日は、約200人の応募者から選ばれた35人が宇宙飛行士の山崎直子さんの話に聴き入った。

資生堂やヒルトン・ブランド・バケーションズ、ガールスカウト日本連盟も、男女格差の現状を学び、解決策を提案するプログラムなどを今夏、開いている。

田中俊之・大正大准教授(男性学)は「10代のうちに、リーダーシップをとるのに性別が必ずしも重要な意味を持たないという気づきを促すことは価値がある。男性も、常に女性をリードしなければならないというプレッシャーから解放される」と話す。(三島あずさ、岡林佐和、杉山麻里子)

(『朝日新聞』平成29年9月26日夕刊』より)

問 あなたは女性として高校や大学で、また社会に出てから、様々な集団の中でリーダーとして活躍したいと思いますか。そう思う場合はどのような集団のリーダーになってどんなことをしたいか、理由とともに具体的に記しなさい。思わない場合はその理由と、それはどのようなになりたいのかを具体的に記しなさい。(六〇〇〜八〇〇字・六〇分 題名などは書かずに行目から本文を書くこと)